

令和 4年 10月 19日

あなたが支える市民活動応援事業実績報告書

大分市長 佐藤 樹一郎 殿

所在地 大分市ひばりヶ丘 3-9-3
団体名 大分交響楽団
代表者氏名 倉内 芳秋
電話 097-597-3589

あなたが支える市民活動応援事業補助金交付要綱第13条の規定により、下記のとおり報告します。

記

- 1. 交付決定年月日 令和 4年 9月 1日
交付決定番号 協働第 889号
- 2. 事業名 大分交響楽団 2022 ファミリーコンサート
- 3. 補助金の交付決定通知額 143,981円
- 4. 補助金の概算交付額 0円
- 5. 補助金の精算額 143,981円
- 6. 事業の成果

コロナ禍での開催でしたが800名を超える方にご来場頂きました。ハンガリーの情景を感じられる曲を集め、民族の多様性に触れて頂きましたが、特にソリストとしてお招きしたツインバロン奏者の齊藤浩氏の演奏では「魅了された」「癒された」等、お客様から嬉しいお言葉を頂きました。今年は「あなたも指揮者」コーナーの再開、開演前のロビーではハープ演奏体験やミニコンサートを開催しました。感染対策を取りながらでしたが、大変好評を頂きました。

- 7. 添付書類 (1)あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書
(2)あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書
(3)活動目標に関する報告書
(4)その他市長が必要と認める書類

(この内容は、大分市のホームページ等で公表いたします。)



あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書

団 体 名	大分交響楽団			
事 業 名	大分交響楽団2022ファミリーコンサート			
主な活動地域	<p>※ 該当する□にチェックしてください。【】の中は校区となっています。</p> <p><input type="checkbox"/> 大分中央【金池、荷揚、長浜、中島、住吉】</p> <p><input type="checkbox"/> 大分西部【春日、大道、西の台、八幡】</p> <p><input type="checkbox"/> 南大分【豊府、南大分、城南、荏隈】</p> <p><input type="checkbox"/> 滝尾【滝尾】</p> <p><input type="checkbox"/> 城東・原川【津留、東大分、日岡、桃園】</p> <p><input type="checkbox"/> 明野【明野】</p> <p><input type="checkbox"/> 鶴崎【鶴崎、三佐、別保、明治、高田、松岡、川添】</p> <p><input type="checkbox"/> 大南【戸次、判田、竹中、吉野】</p> <p><input type="checkbox"/> 植田【植田、宗方、横瀬、東植田、寒田、敷戸、駕野、賀来】</p> <p><input type="checkbox"/> 大在【大在西、大在】</p> <p><input type="checkbox"/> 坂ノ市【坂ノ市、小佐井、丹生】</p> <p><input type="checkbox"/> 佐賀関【本神崎、木佐上、大志生木、佐賀関、一尺屋】</p> <p><input type="checkbox"/> 野津原【東部、中部、西部、今市】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 市内全域</p>			
実施時期 実施場所 実施内容 (目的・経過等)	時期 (月)	実施場所	受 益 対象者数	実 施 内 容 ※目的・経過等をできるだけ詳細に
	6月	iichiko グランシアタ	入場者数 831人	<p>大分交響楽団定例の演奏会の一つで、iichiko グランシアタにおいて、森口真司氏指揮で行 うクラシック演奏会。ファミリーコンサートはクラ シック音楽に興味を持ってもらえるよう、聴 きやすい曲や聞き覚えのある曲を取り上げ、 音楽を通じて豊かな社会作りに貢献できるよ う願っている。</p> <p>今回はハンガリーの情景を感じられる曲を集 め、民族の多様性に触れて頂いた。組曲「ハ ーリ・ヤーノシュ」では民族楽器ツィンパロン 奏者である斉藤浩氏をソリストとしてお招き し、オーケストラ演奏においても珍しい楽器 の音色を楽しんで頂いた。</p> <p>例年より多くのお子様連れのお客様にご来場 頂きましたが、今年再開した「あなたも指揮 者」体験コーナーでは抽選でお二人のかわい い指揮者に体験頂き、会場はあたたかい拍手 に包まれた。</p> <p>開演前のロビーではハープ演奏体験やミニコ ンサートを開催し、オーケストラ演奏以外に もお楽しみ頂いた。</p>
※別紙添付可				

<p>使用した 広報手段と その効果</p>	<p>使用した広報手段（チラシの作成、ホームページ、パンフレットの作成等） ニュースリリースの作成し在大分の新聞・報道各社に送付、行事紹介依頼。 ポスター・チラシによる宣伝。大分市公共設備掲示、新聞広告、情報誌の掲載。 楽団ホームページ、Facebook、Instagramでの宣伝。</p> <p>今年度行った広報の効果 情報誌や新聞（大分合同新聞取材と公演案内記事掲載）、SNS等で開催を知った方からの問い合わせが多くあり、未就学児入場可の演奏会だったからか、お子様連れのご家族に多くご来場頂いた。</p>
<p>事業の成果</p>	<p>地域への効果について（事業を実施した結果、対象地域にどのような効果があらわれたのかを、できるだけ詳細に記入してください。）</p> <p>大分市内の小中学生をご招待させて頂いております。 未就学児は入場無料のため、日頃演奏会に行けないクラシックファンの方にも小さなお子様と一緒に楽しみ頂きました。 「子供に生の演奏を聴かせることが出来て良かった」「子供に指揮者の体験をさせることの意義は大きいと思います。」等、アンケートに頂きました。</p> <p>市民への効果について（市民にとってどのような効果があったか、市民福祉の向上にどうつながったのかを、できるだけ詳細に記入してください。）</p> <p>日頃演奏会に行く機会が少ないと思われる障がいのある方々（大分県盲人協会など）を団体でご招待差し上げ、一般の方々と共に同じ空間で生の音楽に触れて頂きました。 入場は開場前に客席にご案内し混雑を避け安全にご入場頂きました。</p>
<p>来年度に 向けた課題</p>	<p>広報活動は毎年同じ方法を取っていますが、その中でも客層を広げる努力を行っていますが、来年度は活動の拡大、充実を目指します。</p> <p>2022 ファミリーコンサートでは多くのお客様にご満足頂きましたが、一部のお客様には「ちょっと難しかった」「もっと知っている曲が聴きたい」等のご意見を頂いていますので、馴染みのある曲であったり、知らなくても興味を引くような選曲を行い、多くの方に当楽団のことを知って頂けるよう広報活動にもっと力を入れたいと思います。</p>

あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書

事業の名称： 大分交響楽団 2022 ファミリーコンサート

1 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
補助金収入	143,981	あなたが支える市民活動応援事業補助金
会費収入	228,000	団費 (2,000円×3×38名) ※4月～6月分
事業収入	1,045,000	チケット販売収入
寄附金収入	515,000	企業広告協賛金、一般財団法人大分放送文化・スポーツ振興財団
自己負担金	645,171	団体会計から
合 計	2,577,152	

2 【支 出】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
報 償 費	1,257,500	指揮者謝礼等 366,000 (対象外 316,000)、リスト謝礼等 240,000 (対象外 237,000)、トレーナー謝礼等 32,000 (対象外 32,000)、演奏者謝礼等 507,500 (対象外 420,500)、司会者謝礼 40,000、有償ボランティア 72,000 (対象外 27,000)
旅 費	38,222	リスト旅費 (対象外 38,222)
消耗品費	6,750	ペグシム、指揮棒
燃 料 費	0	
食 糧 費	0	
印刷製本費	418,605	チケット、チラシ、楽譜印刷、資料等コピー代等
通信運搬費	310,000	楽器運搬費
広 告 料	0	
保 険 料	11,500	楽器の保険料
手数料・委託費	165,500	写真・映像撮影委託
使用料・賃借料	369,075	会場使用料、機材費
原 材 料 費	0	
備品購入費	0	
合 計	2,577,152	【対象外経費】 1,070,722

備考 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。

なお、実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

活動目標報告書

1 自己収益（※）拡大に向けて

(1) 目標としていた自己収益金の総額 円

(2) 今年度の自己収益金の総額 円

(3) 自己収益拡大に向けた具体的な取り組み
(目標を達成できなかった場合は、その理由と改善策)

- ・毎回、協賛協力を頂いている企業への呼びかけを実施。
- ・まだ落ち着かないコロナ禍の財政不安により思うように新規協賛企業を得られなかったが、数社の新規協賛企業を得ることができた。
- ・弊団体の取り組みに賛同頂ける企業を楽団員全体で協力し合い、増やして行きたい。

記入例：①会員加入の呼び掛けを行った結果、入会者の獲得に成功し、会費収入を増加させることができた。

②協賛企業の呼び掛けをこれまで以上に実施してきたが、景気の流れに左右されることもあり、新規開拓はできなかった。

③来年度も企業への呼び掛けを継続し、企業協賛金の拡大に努めていきたい。 など

2 受益対象者を増加させるための取り組み

(1) 目標としていた受益対象者数 人 (延べ人数)

(2) 今年度の受益対象者数 人 (延べ人数)

(3) 受益対象者数の増加に向けた具体的な取り組み
(目標を達成できなかった場合は、その理由と改善策)

- ・楽団員に1%応援事業についての説明を行い、要約した書類を作成し応援を呼び掛けた。
- ・楽団員を通じ、家族・友人・知人に広く知ってもらえるように呼びかけを行った。
- ・演奏会当日に1%応援事業についての紹介をし、プログラムに要約した書類を挟み込み応援の呼び掛けを行った。
- ・楽団SNSで1%応援事業についての投稿を行い、応援の呼び掛けを行った。